



大崎市 農業委員会 だより

【第23号】

令和元年9月1日発行

編集・発行

大崎市農業委員会

〒989-6117

宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号

TEL 0229-21-0577

FAX 0229-22-8045

e-mail:nougyo@city.osaki.miyagi.jp



白梅幼稚園 食育活動

主な内容

- 令和元年度事業計画・新部会委員紹介・・・2
- 農地に関するお知らせ・・・・・・・・・・・・・3
- 一日女性農業委員会開催
 - ・ 農業行政視察研修報告・・・・・・・・・・・・・4
- よっていがいん・チャレンジ農業女子・・・5
- おらほのはなし・がんばる農業者・・・・・・・6
- わくわく農業体験・・・・・・・・・・・・・7
- 農業者年金受給者の声・編集後記・・・・・・・8

白梅幼稚園では、年間を通じて定期的に食育教室を行い、「食」への興味や基本的なマナー、生活習慣の確認を行っています。

世界農業遺産に認定された大崎市。そんな素晴らしい環境での農業や食の文化を、今後も未来を担う子ども達と様々な体験を通じて見つめ、感謝の心を育ててまいりたいと思います。

白梅幼稚園 園長 高橋 順子

平成31年度 第1回
令和元年度 第2回

大崎市農業委員会総会開催

四月二十六日(金)開催の第一回総会において決定した事業計画と、七月十九日(金)開催の第二回総会において部会委員が変更になりましたので紹介します。

令和元年度 事業計画

基本方針

農業委員会は、本市農業者の期待と信頼に応えるため、関係機関・団体等との連携を強化し、食料生産の基礎的資源であり、かつ先代から受け継いできた地域の貴重な財産である優良農地の確保に万全を期すとともに、地域農業者の代表として次の重点事項に取り組んでまいります。

重点事項

- ① 農業委員・農地利用最適化推進委員相互の連絡調整・組織強化
- ② 関係機関と連携した農地利用集積の促進
- ③ 耕作放棄地の発生防止・解消対策の強化
- ④ 農地と担い手対策、農業・農村の活性化対策に重点を置いた活動
- ⑤ 農業を担う人材の育成・確保を推進するため、男女共同参画社会の実現を目指した女性や女性農業者の会議や研修会の開催
- ⑥ 優良農地確保のための農地制度の適正執行の推進
- ⑦ 農業者年金制度の普及と定着の推進
- ⑧ 農業一般に関する調査活動・地域農業者への情報提供体制の強化
- ⑨ 農家の声の積極的な収集・集約と、関係機関等への改善策提案



新部会委員紹介

かけがえない農地と担い手を守り
力強い農業をつくるかけ橋としての農業委員会活動

農政部会



農政部会長
佐々木 良一
(古川地域)



農政部会長職務代理者
高橋 順子
(古川地域)

鈴木 俊通 (鹿島台地域)
門間 誠 (三本木地域)
曾根 りん子 (古川地域)
高橋 英理子 (鳴子温泉地域)

武田 俊美 (田尻地域)
小原 勉 (松山地域)
佐藤 裕之 (岩出山地域)
佐々木 政直 (古川地域)

農地部会



農地部会長
中 鉢 守
(鳴子温泉地域)



農地部会長職務代理者
中 條 泰 洋
(古川地域)

相澤 幸一 (古川地域)
千坂 明裕 (古川地域)
小関 芳樹 (三本木地域)
熊谷 安正 (鹿島台地域)
齋藤 浩義 (岩出山地域)
小野寺 正晃 (古川地域)
布塚 幸子 (岩出山地域)

只 和 臣 (松山地域)
佐々木 正彦 (田尻地域)
菅原 ひろみ (田尻地域)
菅原 清一 (古川地域)
矢走 恵美子 (鹿島台地域)
笠原 光子 (三本木地域)
鈴木 淳也 (古川地域)

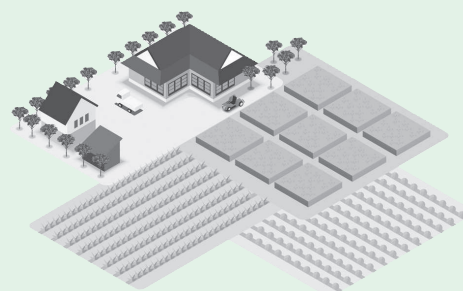
農地に関するお知らせ

空き家に付属した農地に限り 下限面積を1アールに引き下げました。

大崎市農業委員会は、平成31年4月1日から大崎市空家バンクに登録された空き家とセットで農地を取得又は賃借する場合に限り、下限面積を1アール（100㎡）に引き下げました。

主な条件

- 「大崎市空家バンク」に登録された、空き家に接続した農地であること。
- 空き家に居住する方が、耕作することが適切と判断される農地であること。



手続きの流れ

- ① 「大崎市空家バンク登録事業者」で、空家バンクの登録申請をします。
- ② 「空き家に付属した農地指定申請書」により農業委員会に申請します。
- ③ 農業委員会で審議後、適用する場合は告示を行い、併せて申請者に結果を通知します。
- ④ 「農地法第3条許可申請書」により農業委員会に申請します。
- ⑤ 農業委員会で審議後、許可となった場合は許可証を発行します。

移住・定住希望者の中には暮らしに農業を求める方がおります。新たに就農するためには、農地法により一定以上（鳴子温泉地域10アール、それ以外の地域50アール）の農地を取得または賃借しなければなりません。その要件を緩和することで農地の権利移動を容易にし、市内外からの新規就農者やU・I・Jターン者などの移住を促進するとともに、遊休農地の解消と地域の活性化を図ることを目的とするものです。



詳しくは、下記までご相談下さい。

- 空き家に付属する農地、農地の権利移動に関すること
TEL0229-21-0577（大崎市農業委員会事務局：大崎合同庁舎2階）
- 大崎市空家バンクに関すること
TEL0229-25-4493（宮城おおさき移住支援センター・くーらす〈定休日：水〉）

一日女性農業委員会開催!!

布塚 幸子 委員

六月二十七日、第一回一日女性農業委員会が大崎市図書館一階多目的ホールで開催されました。出席されたのは、市内各地域より推薦された方、管内にある農業高校の生徒、宮城県農業大学の学生、合わせて二十四名の方々でした。



鈴木会長より、「二日女性農業委員」への委嘱状が交付され、その後、自己紹介・議案審議へと続きました。講演は、鳴子温泉地域で「さとのわ」の代表として活躍されている鈴木美樹さんを講師に迎え、「いま地域と農業にもとめられているもの、コトつてなに?」と題して、Story teller」と題して、鈴木さんが鳴子に移住した理由や、地域の人たちとの交流の様子、豊かな自然の中で暮らすことの喜びを、エピソードを交えながら話してくれました。

午後からの意見交換は、活発な話し合いになり、「農業は好きだけど採算が合わない」、「支援や助成を受けたいが手続が複雑だ、もっと簡単にできないか」、「猪の被害が年々大きくなっている、早急に対応策を取ってほしい」、「地域によっては、まだまだ男女平等ではない」など、身近な問題に共感する所が多々ありました。そのような中に、「農業が大好きだから農家にお嫁にいつてもいい」という委員さんが二人いました。

マイナスイメージの強い農業ですが、女性の人たちが世代を超えて手を繋げたら、農業が今以上に多くの人に理解されるのではないかと思われました。次回(十一月予定)の一日女性農業委員会が楽しみです。

令和元年度 農業行政視察研修報告

小関 芳樹 委員

七月一日と二日の二日間、梅雨の晴れ間をぬって栃木・茨城両県を視察研修してまいりました。

一日目は栃木県小山市農業委員会を訪問してまいりました。小山市農業委員会ではいち早くタブレット端末を利用した農地パトロール・利用状況調査などで多くの成果を上げています。GPS装置付きの端末だと転用調査等において境界等がわかりやすく事務処理のスピード化が図られるようです。本市においてタブレット端末が導入された際には、事務のスピード化と負担軽減に大いに寄与されることと思います。

二日目は茨城県つくば市の農研機構「食と農の科学館」でスマート農業について研修してまいりました。最近話題の自動運転のトラクター・田植機・コンバインなどを民間とともに研究しているとのこと。農業人口の減る中、大型ほ場において一人で二台のトラクターを自動運転している状況を見てまいりました。また、現在開発中の高機動畦畔草刈機は、夏場の草刈作業を軽労化するためのラジコン草刈機で、畦畔三面を一往復で作業できる優れたものです。また農機具メーカーと試作の段階でしたが、大いに期待が持てます。



アタッチメントを付替えれば冬場の除雪等にも使えますとのことでした。今後の課題は、導入しやすい価格帯を目標に研究を重ねていきたいとのことでした。百聞は一見に如かずといいますが、二日間の農業行政視察研修については多くのものを学び、今後の委員会活動に生かしてまいりたいと思います。

農地等利用状況調査を実施しています

遊休農地や農地の無断転用の実態を把握するため、7月から9月にかけて農業委員会による農地等利用状況調査を実施しています。

調査の結果、遊休農地の所有者等に対し「利用意向調査」を実施するほか、新たに遊休農地や、農地法の

許可を受けずに宅地や資材置場などに利用している農地が確認された場合は、健全な農地の維持と有効活用を図るため、該当農地の所有者・使用者への指導を行います。

農地に関する貸借や売買、転用などについてはお気軽に地域の農業委員、農地利用最適化推進委員、又は農業委員会事務局にご相談ください。



よっていがいん!



鳴子温泉地域

里の魅力発信

取材 高橋 英理子 委員

鳴子温泉地域で喫茶「さとのわ」を経営する鈴木美樹さんは、東京生まれの東京育ち。数年前まで彼女は、忙しい働き方に疑問を感じていました。美樹さんは当時の自分を、「毎日鎧を着て働いているような感じだった。」と振り返ります。

「湯治」という言葉に惹かれ、何度か鳴子温泉を訪れるうち、里山の文化と暮らしに魅力を感じるようになったと語っています。「この土地で新しい働き方ができるかもしれない。」という期待を胸に鳴子に移り住みました。古民家や空家を借りて、地域の食材や自然を活用しながらのイベントを開催し、精力的に活動しています。

「里山の食文化や自然と共存する暮らしは、地域では当たり前にすぎて気づかないだろう。しかし、外から来た私だからこそ、その素晴らしさを伝えていけるかもしれない。」と、目を輝かせて話してくれました。鳴子の魅力を発信しながら、地域の人たちの交流の場となって、元気を与えてくれます。今年九月末には、夢であった自分の店が川渡エリアに完成予定です。近くの温泉につきかり、こだわりの料理を楽しみ、美樹さんの里山談を聞き、身も心もお腹も癒されに、是非お立ち寄りください。



営業情報

場所 / 鳴子温泉字石ノ梅51-1
9月末 オープン予定
営業時間 /
日・火・木曜日 10:30~17:00
金・土曜日 10:30~15:30, 18:00~22:00
定休日 / 月・水曜日
連絡先 / ☎090(1772)1949



チャレンジ農業女子

取材 小原 勉 委員



松山地域 梶形俊子さん

問 農業に携わることになったのは?

答 旧松山町に二十歳で農業を何も知らないまま嫁にきて、姑さんに農業の一切を教えてもらい、今まで長年農業をすることができました。

問 栽培している作物は?

答 水稻育苗ハウスを利用して水菜・ほうれん草・春立ち菜を栽培しています。また、露地では玉ねぎを栽培しJAに出荷しています。他に自家用消費として色々な野菜を栽培して楽しんでいます。

問 今までで、大変だったことは?

答 今まで一生涯懸命農業をして

来ました。忙しい仕事の合間に自分の時間を作り、婦人部活動に参加したり、大変だったことも今では楽しい農業だと思えるようになりました。

問 チャレンジしてみたい事は?

答 農業(野菜づくり)は、毎々が大変勉強になります。

今年は天候のせいもあり、玉ねぎの収量が上がりませんでしたので、来年はなお勉強して、昨年の収穫量の120ケースを超える目標を目指して頑張りたいと思います。

問 農業の良い所は?

答 農業は忙しい、大変だと言われがちですが、自分で時間をすることも可能です。作った時間で色々な活動に参加することが大変勉強になります。

また、私の安心・安全な野菜作りは消費者の方々にも喜んで頂いています。なにより我が家の食卓で食べることが一番です。

おうちの
はなし

桜ノ目志波姫神社 ～相撲との歴史～

取材 小野寺 正 晃 委員

古川地域の宮沢桜ノ目地区では、桜ノ目志波姫神社の奉納行事「小学生相撲大会」を地域伝統の一つとして行っており、今年で五十五回を迎えます。

かつては大崎地方の力自慢が集まり、大相撲さながらの勇ましい出で立ちで相撲の取り組みを行い神社に奉納しており、平成四年からは、宮沢小学校と清滝小学校の児童の参加により、子供奉納相撲として現在の小学生相撲に至っているとの事です。

また、志波姫神社境内には、「天手力男命」（アマノタヂカラオノミコト）と刻印された石碑があり、石碑には第六十九代横綱 白鵬関によつて「奉祀」と「白鵬」の謹書が刻印されています。その石碑の元には千年以上前から志波姫大明神と号し奈良時代の称徳天皇天平神護元年の創祀と伝えられ、古人達が角力の奉納時力試しとして持ち上げて競い合ったと伝えられている「力石」（重量七十五kg）が祀っております。

志波姫神社相撲奉賛会の晴山会長は、少子高齢化による伝統行事の存続を危惧しており、歴史を終わらせたくないとの切実に話しております。神事に関わる人材の減少がうかがえ、良き伝統の途絶が懸念されています。晴山会長からは、相撲は心技体、三位一体の競技として多くの人に愛され、育まれ、親しまれ、体育振興と子供たちの豊かな心身の成長に期する事が大いに必要であるとの想いが強く感じられました。

相撲大会に参加・協力することが、良き伝統と歴史を継承していく最善の方法ではないかと思えます。



がんばる農業者

取材 笠原 光子 委員



三本木地域 福田 翔太さん

三本木地域上伊場野の兼業農家福田翔太さんは、「上伊場野里芋」の生産をしています。

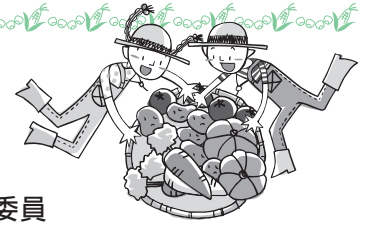
福田さんは、スキーなどアウトドアが趣味で二十代のほとんどを富山県や長野県で過ごしていました。農家の長男でしたが、さほど農業には興味はありませんでした。地元に戻って来ようと思った時に実家で食べた「上伊場野里芋」の美味しさに気づくとともに、高齢化や担い手不足により消えそうになっていたことを聞いたのです。

「上伊場野里芋」は普段スーパーでよく見かける里芋とは違って、とても柔らかく甘い里芋で、上伊場野の土地でしかできない里芋です。「上伊場野里芋」の生産に携わって五年、現在は伝統を絶やさぬよう約十五アールを作付けており、今後の目標は作付面積を倍の三十アールにしようと毎日精を出しています。

今は伝統野菜として魅力を高めるため、地元デザイナーティストとコラボしたラベルやロゴを制作し、販売場所も現在は三本木の道の駅ですが、今後は直売所などでも販売できるように検討しているとのことです。

また、福田さんは、年に一度、三本木中学校でのキャリアアップセミナーにおいて、農家の楽しさなどを伝える活動もしているそうです。「上伊場野里芋」の生産は定植作業や収穫などほぼ手作業で大変ですが、百五十年以上続いてきたこの里芋を、また次の世代につなげていきたいと意欲いっぱい話してくれました。

わくわく農業体験!!



白梅幼稚園

古川地域

取材 佐々木 俊 通 委員

白梅幼稚園では、「みんなで食べるってたのしいね！」をスローガンに年間を通じて食育活動を行っています。

- 春…白梅幼稚園のヒーロー「栄養戦隊タベルンジャー」が登場し、食の大切さや箸の持ち方を確認します。また、園内にゴーヤや小カブの種を植え、毎日お世話をする事で子ども達の“気づきの芽”を育みました。
- 夏…春に植えたゴーヤや小カブの収穫。しらうめファームで収穫した野菜も夏まつりで販売しました。もちろん今年も大好評！完売でした。
- 秋…実りの秋。子ども達はさつまいもや大根の収穫を楽しみます。さつまいもはホクホクの焼き芋に。大根は豚汁でいただきます。
- 冬…年末恒例のおもちパーティーでは、幼稚園産の大根を使ったお雑煮で心も身体も暖まります。



年長児 食育教室 の感想

たけだ こうたちゃん

ヒーマンマンのお話を聞いて、はやね・はやおき・あさごはんを頑張りたいと思いました。ほくはヒーマンも好きなので、風邪をひかないように頑張りたいです。

みねぎし まなちゃん

タベルンジャーと箸の持ち方のゲームが楽しかったです。今は上手にお箸が持てるようになったので、今度タベルンジャーに見てもらいたいです。

なががわ あきちゃん

大根の種を植えて、タベルンジャーに「水」と、「お日さま」と「みんなの愛情」が大切だと教えてもらったので、年少・年中さんの分も大切にお世話してあげたいです。

こばやし いちのすけちゃん

食べ物のシルエットクイズがおもしろかったので、苦手な野菜も頑張ってチャレンジしたいです。



農家のみなさんに役立つ 全国農業新聞

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である農業委員会系統組織が農業者の立場に立って編集・発行している“農家のための情報紙”で紙面も充実しておりますので是非ご購入ください。

◎発行日 毎週金曜日

◎発行所 全国農業会議所

◎購読料 1か月700円

(年間8,400円：送料込)

お申し込み・お問い合わせは、お近くの農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局(☎21-0577)までお願いします。

ご存じですか？ 老後の備えに 農業者年金

国が支える
積立方式で安心

次の3つの要件を満たす方は、誰でも加入できます



詳しくは・・・ **農業者年金** <http://www.nounen.go.jp>
独立行政法人 農業者年金基金

内容やご相談は、
最寄りの**農業委員会**または**JA**へお問い合わせください。

農業者年金受給者の声

取材 菅原清一 委員



古川地域東大崎
熊谷 カツエ さん
(78歳)

大崎市古川で、夫と一緒に農業に従事する一方で、集落の仲間達と週に一度健康のために体操をしたり、お茶飲み会に参加していると、笑顔で語っていました。

年金の加入は、今は亡き父親が娘のためと思って生前贈与をして加入したと、語っていました。

受給を受け、たまに遊びに来る孫達のお小遣いや、年に一度の夫との旅行にと、父親のありがたみを感じながら楽しみにしているそうです。

編集後記

お盆が過ぎ、間もなく稲の収穫期を迎え、農家の皆様は、ワクワク・ソワソワされているかと思えます。令和が始まり、来年には東京五輪を控え、どの様な時代になっていくのか、こちらも楽しみです。

ここで平成時代の思い出を一言。ある朝テレビから、外国の高層ビルに飛行機が突っ込んでいくニュースが流れてきました。目を疑いましたが、現実起きてしまった事件でした。卒業旅行で海外の空港に降り立った際、大きな銃器を抱えた多くの軍人さんが、警備していた事を今でも鮮明に覚えており、その生々しさに恐怖すら感じました。

平成の「平」と、令和の「和」で「平和」の文字になります。テロや紛争の無い、近隣諸国と良好な関係を築く事ができる、平和な時代になる事を願います。

最後に、日々の農作業お疲れ様です。
「秋作業、ご安全に！」 佐藤伸幸



編集委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
佐藤伸幸	高橋英理子	熊谷安正	笠原光子	小野正晃	菅原清一	佐々木俊通	布塚幸子	小原勉

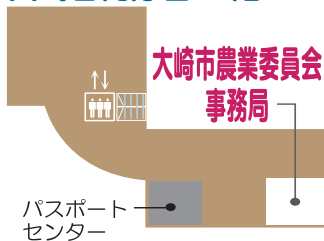
大崎市農業委員会事務局組織機構

農業委員会事務局
(宮城県大崎合同庁舎内)
☎21-0577

※農業委員会関係諸証明のほかに下記証明書の交付ができます。

- 住民票
- 印鑑登録証明書
- 農耕用機械所有証明書

大崎合同庁舎 2階



松山事務所
(松山総合支所内)
☎55-4912

三本木事務所
(三本木総合支所内)
☎52-5832

鹿島台事務所
(鹿島台総合支所内)
☎56-6510

岩出山事務所
(岩出山総合支所内)
☎72-1444

鳴子事務所
(鳴子総合支所内)
☎82-2026

田尻事務所
(田尻総合支所内)
☎39-3060